



東海地域の
外国人自助組織と
つながろう

Foreigner community fair 2009

外国人コミュニティーフェア2009

●連絡先
多文化共生リソースセンター東海
E-mail : mrc-t@canpan.info
T E L : 090-7677-3449(土井)
F A X : 052-486-4103(起業支援ネット)
今後、NPOとして法人格を取得予定です。

日時：2009年3月7日(土)
会場：KKRホテル名古屋 福寿の間
主催：多文化共生リソースセンター東海
共催：特定非営利活動法人 起業支援ネット

外国人コミュニティフェア 2009 の開催に寄せて

1995年に発生した阪神淡路大震災は、在日外国人の支援における大きな転換点でした。地域で暮らす外国人住民のために、具体的な事業を提案していこう。こうした動機から NGO「多文化共生センター」は誕生し、私自身もその立ち上げに関わりました。

あれから14年。当時は聞き慣れなかった「多文化共生」という言葉は、今や日本全国のあちこちの自治体でみられるようになり、様々な取り組みが展開しています。

しかしながら、こうした取り組みにおいて、外国人住民自身の「声」や「思い」がどこまで反映されているかといえば、決して十分とはいえません。このまま当事者である外国人住民の参画が十分でないと、真の「多文化共生社会」は実現せず、また、私たち「日本人」と、いわゆる「外国人住民」との間に、真に「対等」な関係を築くことができないのではないのでしょうか。

本イベントは、このような私たちの思いから生まれました。ささやかな一歩ではありますが、まずは、東海地域で活躍する外国人自助組織にお集まり頂き、彼らの取り組みについて紹介して頂きます。

今回、このフェアに参加して下さった外国人自助組織は、組織の規模や活動形態も様々です。ただ、どの組織のみなさんも、この地域に何らかの貢献をしたい、自分たちが暮らす社会の現状を変えたい、と考えている方々ばかりです。

今日のフェアを通じて、私たちの目標とする「外国人コミュニティとの新しいつながり」が実現するかどうか。加えて、私たち自身が、まだまだ未熟な団体です。しかしながら参加者のみなさん、出展団体のみなさんと一緒であれば、この東海地域に全く新しい「共生」のかたちを生み出せると、私たちは強く信じています。

本日は、みなさん本イベントにご参加頂き、ありがとうございました。この場を借りて、厚くお礼を申し上げます。そして、今後ともどうか当団体にご支援・ご協力頂きますようお願い申し上げます。

多文化共生リソースセンター東海
Resource Center for Multicultural Community Tokai
後藤美樹
GOTO, Miki

プログラム

10:00 ~ 12:00 基調講演 「外国人自助組織の自立のために：KFC の経験から」

特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター(KFC)

理事長 金宣吉(きむそんきち)



- 略歴：1963年 神戸市長田区に生まれる
龍谷大学大学院経済学研究科修士課程修了
ソフトウェア開発企業勤務、社会福祉法人「青丘社」勤務を経て阪神大震災後、「兵庫県定住外国人生活復興センター」の発足に参画、「被災ベトナム人救援連絡会」と団体を統合し「神戸定住外国人支援センター(KFC)」(2004年8月特定非営利活動法人認証)を結成現在に至る。
- 主著書：「国際化時代の人権入門」(共著)明石書店(1997)、
ホルモン文化1~Ⅸ(編集委員)
- 出稿：「都市政策102号」((財)神戸都市問題研究所)、
「月刊自治研」(自治研中央推進委員会)ほか

13:00 ~ 16:00 模擬投資ゲーム

【内容】

- 13:00 ~ 13:45 出展団体によるプラン、想い、実践発表
(ポルトガル語、英語の通訳あり)
- 13:45 ~ 15:00 市場方式での模擬投資タイム
- 15:00 ~ 15:30 交流会
- 15:30 ~ 16:00 結果発表

● 出展団体 (アルファベット順)

- AME(Associacao de Maes e filhos Especiais)：ブラジル
- FMC(フィリピン人移住者センター)：フィリピン
- JR ASSESSORIA：ブラジル
- 関西ボリビア人会：ボリビア
- OCJ(Organization of Cordillerans in Japan)：フィリピン
- PSJ(Philippine Society in Japan)：フィリピン
- SEMA(Sete Mares)：ブラジル

模擬投資ゲーム

概要

出展者は、理念・ビジョン・事業プラン・事業の結果もたらされる地域社会への利益などを投資家に説明します。

投資家はその内容を「地域の利益」「社会の利益」という観点から判断し、投資を行います。

イメージ

出展の形態はフリーマーケットです。ご自由に各ブースをおまわりください。

会話や笑いが飛び交い、ふれあいと活気のある「市場（いちば）」

のような空間です。同時に出展者と投資家の真剣

勝負の場でもあります。投資をするか

どうかの判断をするための質問

なども大歓迎です。

POINT

時間が限られていますので、すべてのブースを回りきることができないかもしれません。工夫して時間配分をしてください。

3

最後に 20 分ほどの「投資タイム」の間に、投資を行います。

4

集計後、投資結果を発表します。

2

自由にブースを回り交流します。プレゼンテーションとパンフレットの内容をもとに、興味・関心のあるブースからお回りください。

1

最初に各出展者から、簡単なプレゼンテーションがあります。

投資の方法

投資家の持ち金は1000万円です。

出展者の事業プランを聞いて、投資に値する金額を判断してください。

投資は、出展者の机の上に置いてある【小切手】の表面に金額、裏面に感想やアドバイスを書き込み、「空の箱」の中に投函してください。

投資は複数の事業に行っても結構です。ただし、合計金額が1000万円を超えないようにお願いします。持ち金をすべて使いきる必要はありません。投資に値する出展者がなければ、投資ゼロもありえます。

ご自分が投資をした出展者・投資金額・投資した理由を、【投資記録カード】に記入して、終了後ご提出ください。

何かご不明な点などありましたら、会場のスタッフになんなりとおたずねください。

AME

Associação de mães e filhos especiais

●代表者名 Osugi Nivaldo Akira

●キャッチフレーズ AME Love 愛

理念

Formalizar uma via de apoio para todas as famílias estrangeiras que tenham crianças especiais
障害を抱えたお子さんを持つ、全ての外国人家庭に助けとなる方法を形作ること。

事業内容

Necessitamos de um Centro de Reabilitação. Neste espaço atenderíamos crianças com varias necessidades especiais, por exemplo, autismo, síndrome de Down, atrofias e etc. Hoje quem tem mais de um filho especial deve levar cada um em um local diferente e às vezes distantes causando um desgaste físico e mental às mães e pais.

私たちは、自閉症、ダウン症、萎縮症など、様々な障害を抱えた子供たちを診察するリハビリセンターを必要としています。今日、それらの子供たちはそれぞれ違う病院に連れて行かねばならず、時には彼らの両親の肉体的、精神的な負担となってしまふからです。

地域・社会への貢献

Com este Centre facilitaremos o trabalho desses pais em relação às consultas médicas e também a comunicação com os médicos. Teremos palestras e atividades relaxantes com os pais, pois uma pessoa com a mente sadia é um trabalhador mais apto, menos sujeito a acidentes e menos propenso a discussões e brigas dentro e fora da fábrica.

このリハビリセンターでは、医師達の医学面での助言と、彼らとのコミュニケーションにより、両親がより仕事に専念し易いようにします。そこで例えば、両親との座談会や、ある種のレクリエーションを企画します。なぜなら、障害の子どもを持つ親のストレスを緩和することによって、健全な精神が保たれ、仕事にも集中でき、事故にも巻き込まれず働くことができるからです。

将来のビジョン

Para conseguirmos tudo isso primeiramente precisamos de tradução dos nossos estatutos e de orientação nos trâmites burocráticos para tornarmos uma NPO. E também a disponibilização deste imóvel.

それら全てを行うために、まず正式な NPO にならねばならず、そのため私たちの団体の規約と方針を訳したものを政府に提出しなくてはなりません。そして、リハビリセンターの開けるような土地・場所も必要です。

メッセージ

Não se sinta triste por ter um filho especial, pois o próprio Deus diz : os filhos são herança do senhor. AME, use esta palavra na sua vida. Ame estas crianças, Ame seus pais, Ame seus amigos e Ame a si mesmo. O Amor supera tudo.

特殊なお子さんを持つことで、悲しくならなくてください。なぜなら、神ご自身もおっしゃるように：子供たちはキリストの遺したもののなのです。愛しなさい、この言葉をあなたの人生に使いなさい。このような子供たちを愛しなさい、あなたの両親を愛しなさい、あなたの友人たちを愛しなさい、そしてあなた自身を愛しなさい。愛は全てに勝るものです。

FMC Filipino Migrants Center

フィリピン人移住者センター

●代表者名 Virgie Ishihara 石原 バージ

●キャッチフレーズ : "For many years, many have spoken in behalf of migrants, this time the migrants, speak for ourselves."

「長年の間、多くの方が移民のために声をあげてくれました。
次は、移民自身が声をあげる番なのです。」

理念 To organize, educate Filipino migrants about their rights, welfare, and responsibility in order to build a healthy multi-ethnic, multi cultural society in Japan.
日本における真の多文化共生社会を実現するために、権利・福祉・責任についてフィリピン人移民を啓発し組織化していくこと。

事業内容 FMC has programs to meet its goal like: 1. Crisis Intervention 2. Research and documentation 3. Education and Organizing 4. Networking and Solidarity 5. Campaigns and Advocacy 6. Crisis Prevention through Community Integration and Know your Rights
FMCは活動目標に沿って以下のプログラムを行っています。
1. 問題解決（相談、カウンセリング、DV 被害者支援等）
2. 調査と記録
3. 教育と組織化
4. ネットワーク構築と連帯
5. キャンペーンと人権擁護運動
6. コミュニティ統合と権利意識発揚による問題予防

地域・社会への貢献 It serves as a venue for the migrants to understand their own problems. It is also a way to educate local community to understand the migrants presence in the community. For the local and migrants community to work together to build a peaceful and united community and society.
移民コミュニティは、移民自身の抱える問題を理解するための場所として機能しています。またそれは、地域社会のすぐそばに移民たちが存在しているということ、日本の地域コミュニティに知ってもらうための方法でもあります。私たちは、平和でまとまりあるコミュニティと社会を構築するために、移民と地域のコミュニティが手をたずさえていくことが大切だと考えています。

将来のビジョン To create a program to empower migrants with the support of local community. Hope to find an office that is accessible to all.
地域コミュニティのサポートの下で、移民をエンパワーするプログラムを構築すること。願わくば、活動の基盤となる事務所を得たいと思っています。

メッセージ Hope that this project would create more closer and deeper understanding of the meaning of multi-cultural society. It should be a long lasting program to sincerely help the minority members of Japanese society which is the foreign migrants community.
このプロジェクトが、多文化共生社会の理解をおおいに促進してくれることを期待しています。日本社会のマイノリティである外国からの移民コミュニティの人々の助けとなって、長く継続するプログラムであってほしいと思っています。

JR ASSESSORIA

JR アドバイザー

●代表者名 OCHI KIYOSHI 黄地 潔

●キャッチフレーズ Trânsito é assunto sério, sem a conscientização muitas vidas estão em jogo.

交通安全は真剣に考えるべき。その意識がなければ、多くの命が危険にさらされる。

理念 Conscientizar e educar a população e transmitir dados oficiais da legislação do trânsito, em fácil acesso e compreensão do trânsito em vários idiomas.
①住民の交通安全意識の向上、②交通安全指導の実施、③交通法規に関する情報発信を簡単なアクセスと多言語で行うことで、外国人住民の交通被害を減らしたい。

事業内容 Desenvolvimento e manutenção de um portal com artigos, banco de dados, notícias, imagens em 3D e outras mídias. Desenvolvimento de materiais impressos para distribuição gratuita para orientação e educação no trânsito, programa de educação no trânsito para as escolas, palestras, campanhas relacionadas ao tema e promoção de eventos para divulgar o projeto e seus objetivos.
・様々な交通情報（記事、データバンク、ニュース、3D画像や他のメディアの情報）の検索ができるサイトの開発及び管理をする。
・交通安全指導に関する資料を作成・配布する。
・ブラジル人学校で行う交通安全教育プログラムを開発する。
・交通法規に関する講演会や交通安全運動を促進する。
・本事業の内容や目的をホームページで公開する。

地域・社会への貢献 Disseminação de informações claras e precisas, aumento de uma mídia de comunicação com informações relacionadas com este tema para a sociedade, educação moral e valorização da vida, redução dos altos índices de vítimas fatais, promoção de um trânsito mais seguro para todos, maior conservação do patrimônio público (estragos causados por acidentes), redução dos altos índices de infrações no trânsito e o desenvolvimento de um material sobre educação no trânsito para distribuição gratuita para efetuar um trabalho preventivo nas escolas.
本事業は、明白かつ正確な情報を普及し、社会にモラル教育、命の大切さ、高い致死率の削減、社会への安全な交通、公共環境の保全（事故が原因とする損傷）、高い交通違反率の削減などをテーマする情報を提供するコミュニケーションメディアを増加する。更に、交通教育の資料を開発して無料で学校に配布し、交通問題の予防を図る。

将来のビジョン Poder criar no futuro uma página de documentários no Portal com filmes e fotos reais de acidentes de trânsito sem a censura de imagens e dos fatos, pois acreditamos que só a dura realidade pode sensibilizar o condutor e toda sociedade da importância de respeitar as regras de trânsito e do respeito das vidas de todos que integram um único sistema de trânsito.
将来的には、ウェブサイトを通して、実話にもとづいたドキュメンタリー映画や本物の交通事故の写真画像を検閲なしで載せ、同じ交通システムに共生している運転手が現実問題を実感し、社会全体が交通ルール及び命の尊重の認識を高めることを可能とさせる。

メッセージ Estamos conscientes que o trânsito mata mais que as guerras, por isso temos a obrigação social de trabalhar em prol da redução destes índices. Porém sozinhos somos um pequeno grão de areia, unidos muitos grãos de areia os homens constroem cidades e mundos, assim, unidos venceremos as dificuldades e daremos a esse projeto e a seus objetivos prosperidade e longevidade.
交通事故死亡率は、戦争による死亡率より高い。私たちには、社会的な義務として交通事故死亡率を低減する働きが必要とされている。一人だ一つの砂の粉と同じように力が弱い、多くの砂で人間は都市や世界を構築することができる。力を合わせ、協力し合うことで困難さを乗り越えること、そしてこのプロジェクトの目的を繁栄と長寿で果たすことを願っている。

関西ボリビア人会

Asociacion de Residentes Bolivianos en kansai

- 代表者名 Rosario Yamada 山田 ロサリオ
- キャッチフレーズ INTEGRACION Integracion

理念 Para que los desendientes bolivianos ingresen a la sociedad japonesa
在日ボリビア人が、日本の社会になじめるように

事業内容

- ・ Actividades de atencion de consultas sobre la vida cotidiana
- ・ Traducciones de japones a espanol y viceversa
- ・ Actividades culturales de Bolivia dentro las escuelas (baile, canto etc)
- ・ Promocion de Bolivia mediante la EXPO BOLIVIA 2009 en Mie
- ・ 在日ボリビア人の生活相談及びサポート事業
- ・ スペイン語／日本語の通訳・翻訳事業
- ・ 学校や地域行事での、ボリビアの文化（習慣・歌・踊り等）紹介事業
- ・ 「EXPO みえ」開催・運営事業

地域・社会への貢献

Los ultimos tiempos aumento la llegada de extranjeros, y se ve que la mayoría no logran introducirse a la sociedad japonesa o a la vecindad donde habitan, esto lleva a aumentar muchos problemas por la falta de convivencia es por eso que la Asociacion de Residentes Bolivianos en Kansai, a visto la necesidad de hacer diferentes actividades como Seminarios sobre Reglas y Normas de Japon, Consultas sobre la Vida Cotidiana, y presentacion de la Cultura de Bolivia.

年々、南米より日本に移住する人が増えています。その中には、日本の地域や社会になじめない人も多く、問題が起きているのも事実です。関西ボリビア人会は、セミナーや生活相談を通して彼らに日本社会のルールを伝え、日本の生活になじんでもらうようお手伝いをします。そして、安心・安全な地域づくりに貢献します。

将来のビジョン

Deseamos que conozcan la cultura de Bolivia a traves de sus diferentes lugares, es por eso que pretendemos crear un intercambio de negocios, dentro nuestros eventos y asi ambos paises tengamos un ambiente de inter relacion.

文化面だけでなくいろんな場面やところでボリビアを知ってもらいたいです。そのため日本とボリビアの貿易を促進を促すため、日本とボリビアの企業の架け橋になれたらと思っています。そのためお互いが出会う場所などイベントを開催したいです。

メッセージ

La Expo Bolivia 2009 es una puerta de entrada, para hacer conocer que pais es Bolivia y que los bolivianos se sientan orgullosos de su identidad, transmitiendo a los ninos a travez de un Intercambio cultural con Japon y podamos lograr una convivencia feliz.Esperamos a todos que por favor vengan a disfrutar de la EXPO BOLIVIA 2009

ボリビア人のみなさん、誇りをもって！ボリビアがどのような国か、交流しながら皆さんに知ってほしいです。そして、日本で育った子どもたちに、自分のルーツであるボリビアをもっと身近に感じてほしいです。また、「EXPO みえ 2009」を通して、日本とボリビアの架け橋になれることを願っています。ぜひ皆さん見に来てください。

OCJ

Organization of Cordillerans in Japan

- 代表者名 Andy Abitong
- キャッチフレーズ "Cordillerans Spirit"; Members of OCJ are Filipino-Japanese decendants "Nikkei-jin " who belongs to tribes of Cordilleran Region in the Philippines also to lowland Filipinos.

コルディラ出身の人々 OCJのメンバーは、いわゆる日系フィリピン人です。フィリピン北部のコルディラ地域に住む民族や、低地フィリピン人の血をひいています。

理念 OCJ organization's goal is helping its members live harmonously with the Japanese people and other races here in Japan.
OCJの目的は、メンバーが日本や他地域の出身の人々と仲良く暮らせるよう支援することです。

事業内容

OCJ's projects are; Chirstmas or New Year Party at the end of December, Community Service on February in Kanigawa, Kani-shi of Gifu ken, Event called "Cordillera Day" on Golden Week in May, OCJ anniversary celebration during Obon Yasumi in August. The organization also conducts labor consultations with the help of other support groups in response to the clamor of its members affected by labor right issues.

OCJの事業は、以下です。12月のクリスマス、新年会、岐阜県の可児市で行なわれるコミュニティサービス、「コルディラデイ」という5月のイベント、OCJの発足イベント。またOCJは、他の団体と協力して、労働者としての権利を侵害されたメンバーに対応して、労働相談の事業も行なっています。

地域・社会への貢献

The organization does not only concern itself on socialization and cultural events but also for the education of its members as well as their well being while living here in Japan.

OCJは、交流や文化イベントのみに関心があるわけではありません。メンバーが日本で生活している間、彼らの福祉や教育にも取り組んでいこうと思っています。

将来のビジョン

The OCJ has still a long way to go to realize its vission in helping its members live harmonously with the Japanese people and other races in Japan. It is a greater challenge at this time of Retrenchment and Recession for all of us.However, it is not yet over for the cordillera spirit. Life still has a lot of potentials we just have to look for it.

OCJのメンバーが日本人や他国の出身地域の人々と仲良く暮らす、という目標に至るまでにはまだまだ道のりは遠いです。現在は、私たちにとって挑戦の時期にきています。「コルディラ・スピリット」は、このままでは終わりません。人生には様々な可能性があり、私たちはこれらを探し続けます。

メッセージ

We ara planning to show our Cordillerans culture.
当日はコルディラ地方の文化も紹介します。

PSJ Philippine Society in Japan

フィリピン・ソサエティ・ジャパン

●代表者名 ネストール L. プノ

●キャッチフレーズ It is the policy of the PSJ to work and relate with other organizations of other Filipino organizations, nationalities and local community for the interest of the Filipino and Japanese people.

PSJのポリシーは、フィリピン人組織や他の外国籍住民の組織、地域社会の人々とともに、日本人やフィリピン人のために活動することです。

理念 Our goals are; mutual support of Filipino migrants and establishment of good relationship between us and Japanese society.
日本在住のフィリピン人が相互に助け合うこと、そして日本の皆様と良い関係を築き、より良く理解しあえるようになること、これが私たちが組織を作った目的です。

事業内容 This year, PSJ would like to present a cultural event that will highlight the Filipino migrants situation and introduce various Philippine dances here in Japan not only to bring entertainment but also educate local and Filipino audiences that will deepen understanding and expand reach towards common goals.
今年、PSJ は、日本におけるフィリピン人の状況に焦点をあて、フィリピンの様々な踊りなどを紹介する文化イベントを実施する予定です。これらは、観客を楽しませるために行なうだけでなく、イベントの観客となる日本人やフィリピン人を啓蒙し、共通のゴールにむけての理解を深めることを目指します。

地域・社会への貢献 PSJ participates in local events to promote Philippine culture and festivals like the Domannaka Matsuri, Naka Kumin, World Collaboration, as well as with the activities of the local chonai kai and city government. For the Filipino community, PSJ is raising Filipino community spirit, reach out and provide alternative venues for common goods. Through these, Filipino and local community build a mutual relation and would give birth for more cooperation and support.
PSJ は、様々な地域の行事に参加することによって、フィリピンの文化やお祭りを紹介しています。これまで「ど真ん中まつり」「中区民祭り」「ワールドコラボフェスタ」などをはじめ、町内会や市役所の活動に参加してきました。フィリピン人住民には「フィリピン人スピリット」を喚起し、共通のゴールにむかう様々な方法を知らせます。こうした活動を通じて、フィリピン人と地域社会が相互関係を確立し、相互に協力し、助け合える関係を作り出すことを目指します。

将来のビジョン Recognizing the need to organize ourselves so that our unity will contribute in building a society with equality and justice where the rights, interests, and welfare of Filipinos and our families are respected, safeguarded and defended. 私たち自身を組織化する必要性が認められ、私たちが団結することによって、フィリピン人とそのフィリピン人の権利、利益、福祉に敬意が払われ、保護される、平等で公正な社会に貢献したいと思えます。

メッセージ An empowered organization is one which individuals have the knowledge, skill, desire, and opportunity to personally succeed in a way that leads to collective organizational success.
知識とスキル、願望、そしてチャンスを持っている個人によって構成される「エンパワーメントされた組織」であれば、そして、こうした組織が集まれば、成功が得られるはずです。

SEMA

Sete Mares

●代表者名 Sumiyoshi Helio Yoiti

●キャッチフレーズ Pratique Cidadania 大人になりなさい。

理念 Dar suporte aos Estrangeiros para a formacao da Sociedade Multicultural Japonesa.
日本の多文化共生を促進するために外国人のサポートを行うことを目的としています。

事業内容 Repasse de Informações a respeito de Leis Trabalhistas, Leis de Seguridade, Sistemas de Suporte/Assistencias como Seguro Desemprego, Sistema de Habitações do Governo, Etc.
労働に関する情報（労働法律、社会保険、厚生年金、労災保険、雇用保険など）や生活に関する国のサポート体制（生活保護、シングルマザーのサポート、安価な住宅情報など）を在日ブラジル人に伝える活動を行っています。

地域・社会への貢献 Integrando e aumentando intercambio cultural do Estrangeiro na Sociedade Local, estes poderão passar a integrar Associações de Bairro, onde passarão a conviver com mais harmonia.
文化交流を促進して、地元の人とふれ合う機会を増やすことで、互いに理解を深め、地域社会に溶け込んでいきたいと考えています。また、自治会に参加するなど、日本の社会人と同じ生活を送ることを目標としています。

将来のビジョン Para que a Comunidade Estrangeira consiga conviver em harmonia com a Sociedade Local, e necesario uma reciclagem do comportamento e para isso desenvolveremos um Projeto para Repasse de Informacoes para que isso se torne possivel. E para melhorar o conhecimento pretendemos criar um Projeto de Curso de Computação.
外国人コミュニティが地元で安心して暮らすためには、自分のマナーを見直す必要があります。SEMA は彼らが自分たちのマナーを見直せるような情報を伝えていくプロジェクトを行います。将来的にはパソコンスクールなど、生活に役立つスキルを身につけるプロジェクトも行いたいです。

メッセージ Nossa atividade tem como pano de fundo de contribuir com a formacao da Sociedade Multicultural Japonesa onde gostaríamos de ter como membro alguém da Sociedade Japonesa.
日本の多文化共生が進んでいくために、わたしたちは活動をしています。地元で暮らす日本人がメンバーになってくれたらうれしいです。